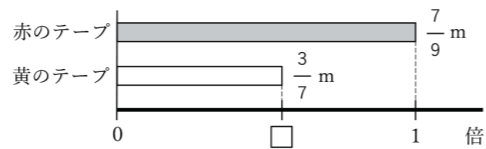


6年 標準学力調査  
3学期実施版(東京書籍)をもとに改題

みさきさんは、赤のテープと黄のテープの長さを比べています。  
赤のテープの長さは $\frac{7}{9}$ mで、黄のテープの長さは $\frac{3}{7}$ mです。黄のテープの長さが、赤のテープの長さの何倍になるかを求める式はどれですか。



正答率 6年(12~2月) 49.2%

誤答例 除数と被除数を逆にしている  
かけ算の式を選ぶ

2量の関係で、もとにする大きさを正しくとらえられない、何倍にあたるかを求めるときにわり算を使うことを理解していない児童がいます。

教科書紙面では、

3年から積み上げてきた「倍」の学習をふまえ、**分数の倍を、既習の整数倍や小数倍の意味と統合的にとらえられるように**しています。

整数や小数のときと**同じように考える**と、  
□のリボンの長さを1とみて…。

5年上 p.65 「小数の倍」

1 青のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍ですか。  
赤のリボンの長さをもとにしているね。  
式  $\square \div \square = \square$   
答え □ 倍

2 赤のリボンの長さは、青のリボンの長さの何倍ですか。  
□のリボンの長さをもとにしているね。  
式  $\square \div \square = \square$   
答え □ 倍

3 0.4倍というのは、10mを1とみたとき、4mが0.4にあたることを表しているね。  
式  $4 \times 2.5 = 10$   
答え □ 倍

まとめ  
同じ2つの量の関係でも、もとにする大きさをどちらにするかで、倍を表す数が変わる。

6年 p.67 「分数の倍」

1 青のリボン 赤  
0 1/2 5/4 (m)  
式  $\square \div \square = \square$   
答え □ 倍

2 黄のリボン 赤  
0 3/8 1/2 (m)  
式  $\square \div \square = \square$   
答え □ 倍

まとめ  
分数のときも、ある大きさが、もとにする大きさの何倍にあたるかを求めるには、わり算を使う。  
5/2倍は、1/2mを1とみたとき、5/4mが5/2にあたることを表している。

練習  
1 ①の問題で、黄のリボンの長さをもとにすると、赤のリボンと青のリボンの長さは、それぞれ何倍ですか。  
② 下の問題に答えましょう。  
①  $\frac{2}{3}$ kgをもとにすると、 $\frac{5}{9}$ kgは何倍ですか。  
②  $\frac{8}{9}$ Lを1とみると、 $\frac{5}{6}$ Lはいくつにあたりますか。

「倍」や「分数」の取り扱いについては、**教科書のご案内 p.48~49** もご覧ください。

数直線のかき方を段階的に見せることで、2量の関係をしっかりとらえ、正しい立式へと導きます。

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。

数直線の図に表そう (青のリボン)

さらに、QRコンテンツを使うと…

令和6年度  
新編  
新しい  
算数

# つまずきへの取り組み

全国学力・学習状況調査、標準学力調査より

全国学力調査や標準学力調査の結果について、正答率が低い内容を中心に分析しました。児童がつまずきやすい箇所では、教科書の展開をさらに工夫することはもちろん、QRコンテンツを活用してフォローできるようにしました。本書では、その一部をご紹介します。

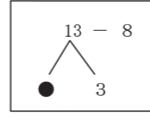
この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



1年 標準学力調査  
1学期実施版(東京書籍)をもとに改題

りくさんは、13-8の けいさんの しかたを かんがえています。□にあてはまる かずを かきましょう。

- 13-8の けいさんの しかた
- ① 3から 8は ひけません。
  - ② 13を □と 3に わけます。
  - ③ 10から □を ひくと、2になります。
  - ④ この 2と □を たすと、13-8の こたえに なります。



正答率 2年(4~6月) 62.2%

計算の仕方の背景にある数の操作の理解が定着していない児童がいます。

教科書紙面では、

ブロック操作の説明と、式を図解した説明を対応させているので、操作と式を関連づけて計算の仕方を理解させられます。

13-9の けいさんの しかた

- ① 3から 9は ひけないから、13を 10と 3に わけます。
- ② 10から 9を ひくと 1です。
- ③ 1と 3で 4。

13-9=4 こたえ 4 こ

14-8の けいさんの しかたを かんがえましょう。

- ① 4から 8は ひけないから、14を 10と 4に わけます。
- ② 10から 8を ひくと 2です。
- ③ 2と 4で 6。

11-7の けいさんの しかたを いきましょう。

- ① 1から 7は ひけないから、11を 10と 1に わけます。
- ② 10から 7を ひくと 3です。
- ③ 3と 1で 4。

▲1年② p.78~79「ひきざん」

さらに、QRコンテンツを使うと…

13-9の けいさんの しかた

- ① 3から 9は ひけない。
- ② 13を 10と 3に わける。
- ③ 10から 9を ひくと 1。

13-9=

アニメーションで、動的・視覚的に理解できます！  
計算の仕方に沿ったアニメーションで、操作をイメージしながら計算の仕方を確認することができます。

13-9の けいさんの しかた

- ① 3から 9は ひけない。
- ② 13を 10と 3に わける。
- ③ 10から 9を ひくと 1。
- ④ 1と 3で 4。

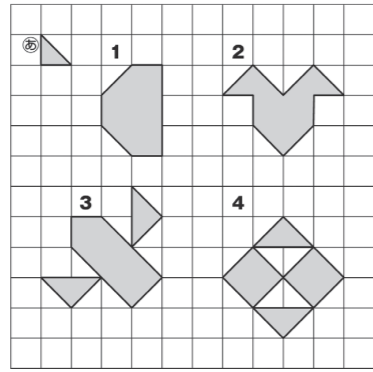
13-9=4

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



13-9の けいさんの しかた

ゆうまさんは、⑤の いろいろたをつかって  
いろいろな かたちをつくりました。  
いろいろたを いちばん おおく つかっている  
かたちは どれですか。つぎから 1つ えらんで、  
その ばんごうに ○を つけましょう。



正答率 2年(4~6月) 49.4%

誤答例 4

コンテンツの授業での活用方法は  
こちらからご覧いただけます。



math connect

図形の構成についての理解が  
定着していない実態があります。

みさきさんたちは、だしがやにならんでいるおかしについて考えています。

みさきさんとゆうとさんは、おかしが何はこあるか、

それぞれつぎのように考えてもめました。

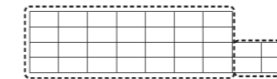
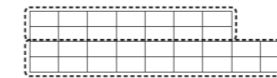
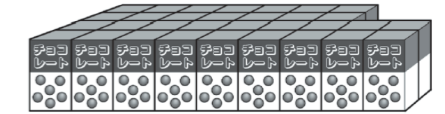
《みさきさんの考え》

上と下の2つに分けて考えました。

《ゆうとさんの考え》

右と左の2つに分けて考えました。

みさきさんの考えをあらわしたしきはどれですか。答えは1~4から1つえらんで、その番ごうを書きましょう。(選択肢省略)



正答率 3年(4~6月) 56.6%

誤答例 ゆうとさんの考えを表した式を選ぶ

考えを式に表したり、式から考えを読み取ったり  
することが苦手な実態があります。

身のまわりのものの形に着目する  
ことから学習に入り、学習意欲を  
高めて主体的に学習に取り組める  
ようにしています。

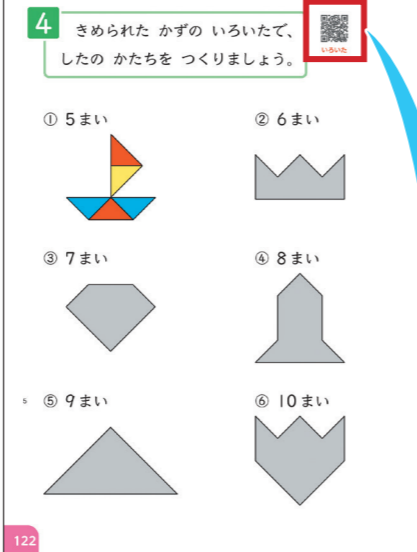
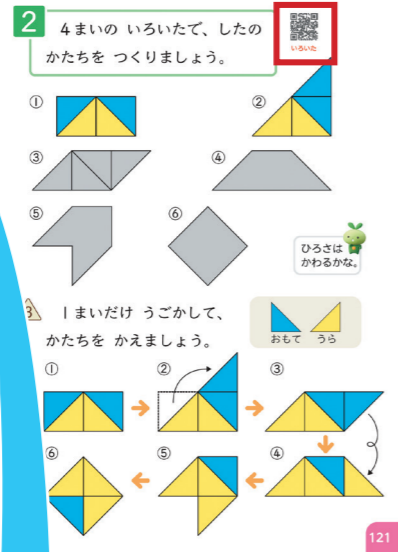
教科書紙面では、

色板を使った様々な活動を扱い、  
図形の構成や分解、移動についての  
素地を培うことを大切にしています。

教科書紙面では、

「今日の深い学び」で思考力、判断力、表現力等の  
いっそうの伸長を図ります。

18 かたちづくり



▲1年② p.120~122 「かたちづくり」

さらに、  
QR コンテンツを使うと…

こちらから実際のコンテンツを  
ご覧いただけます。



いろいろたで かたちをつくらう



いろいろたで かたちをつくらう

図形操作のコンテンツが充実!

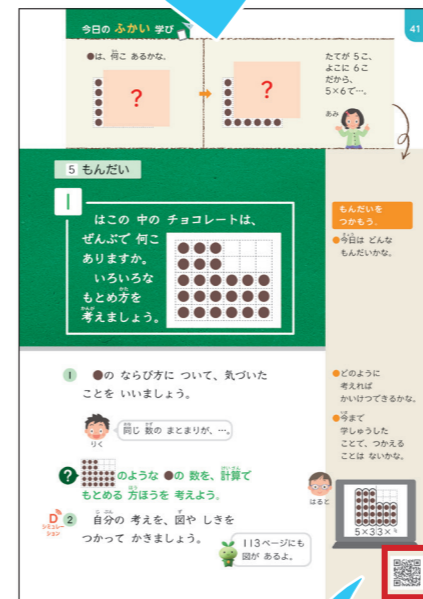
1年②「かたちづくり」では、すべての図形操作活動の場面にQRコンテンツをご用意しています。簡単な操作で、何度も取り組むことができ、図形の構成について理解を深めることができます。

さらに、  
QR コンテンツを  
使うと…

こちらから実際のコンテンツを  
ご覧いただけます。



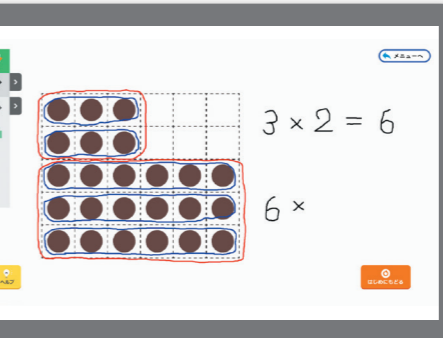
チョコレートの数をもとめよう



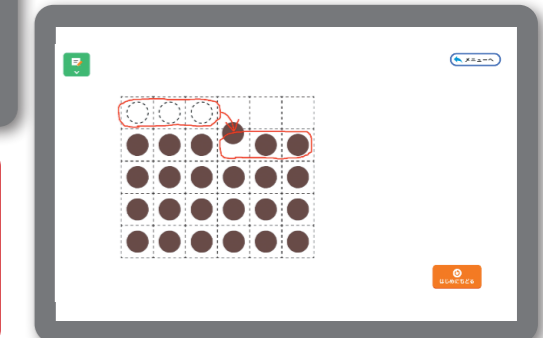
▲2年下 p.41~43  
「かけ算(2)」

一問一答による内容理解から脱却し、  
自分の考えと友だちの考えとの比較を通して、  
より深く考えることを重視しています。

線や式を図に書き込んだり、●を動かしたりして、自分の考えを表現できます。  
図、式、言葉を関連づけて表現することを意識できるようにしています。



自分の考えを書き込んだ画面を  
スクリーンショットして共有する  
ことで、自分と異なる考えに触れ、  
多様な考えをもつきっかけに  
することができます。



はるとさんは、バスにのるためにバスでいに行きました。 バスでいについたときの時こく  
右の時計は、バスでいについたときの時こくです。  
はるとさんが歩いてきた時間は10分でした。  
はるとさんが家を出た時こくをもとめましょう。(選択肢省略)



正答率 3年(4~6月) 66.3%

誤答例 10分後の時刻を選ぶ / 4時台の時刻を選ぶ

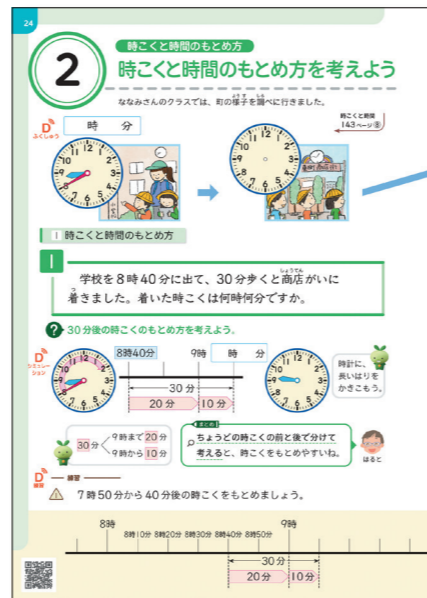
「〇分前」、「〇分後」を正確に読み取れていない児童がいます。また、短針の読み取り方が定着していない実態があります。

教科書紙面では、

「時刻」と「時間」の違いを、日常生活と関連づけながら、  
☒を用いてわかりやすく示しています。



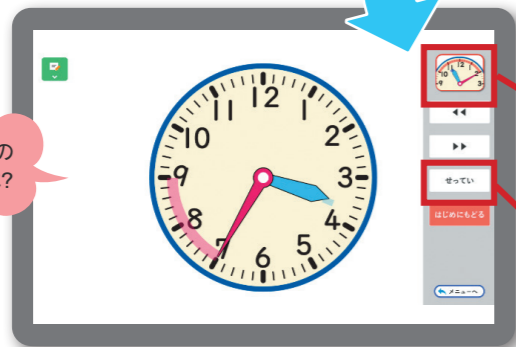
▲2年上 p.76~77 「時こくと時間」



▲3年上 p.24 「時こくと時間のもつめ方」

3年「時こくと時間のもつめ方」へとつながる素地をつくることができます。

さらに、QRコンテンツを使うと…



3時45分の10分前は?

短針と長針の動きを帯で示すことができます。「時間」の感覚を養うのに役立てられます。



9時40分の20分後は?

9時10分から9時25分の間の時間は?

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



時こくと時間をあわそう

「せってい」から、間の時間を設定して時計の針を動かしたり、前後の時刻を設定して時計の針を動かしたり、状況に合わせてシミュレーションすることができます。

けんたさんは、ある日曜日と月曜日に、交差点を通る自動車のしゅるいと台数について調べて、ぼうグラフに表しました。

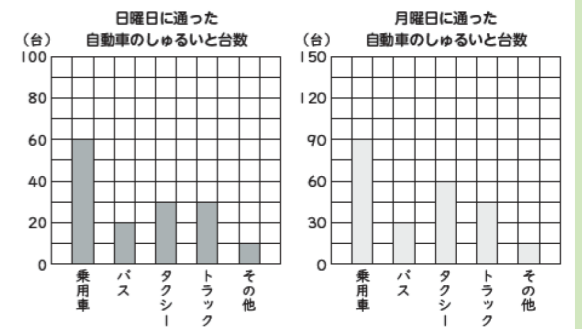
日曜日に通った自動車のしゅるいと台数と、月曜日に通った自動車のしゅるいと台数をくらべて、けんたさんは次のように言いました。

けんた:「乗用車のグラフを見ると、日曜日と月曜日の乗用車の台数は同じだね。」

けんたさんの言っていることは正しいですか。まちがっていますか。

また、そのわけをせつ明しましょう。

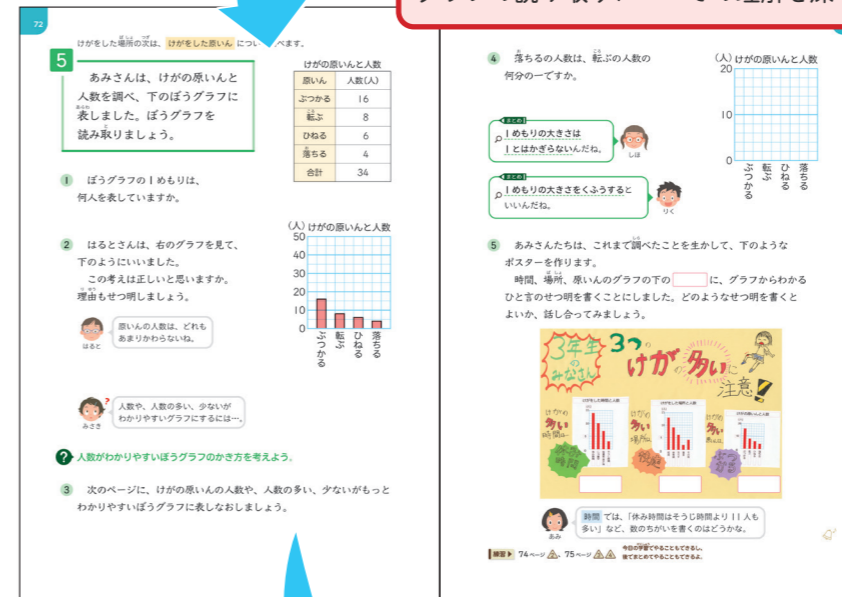
正答率 4年(4~6月) 60.2%



グラフを読み取るときに、1めもりの大きさを正確に確認できていない児童がいます。

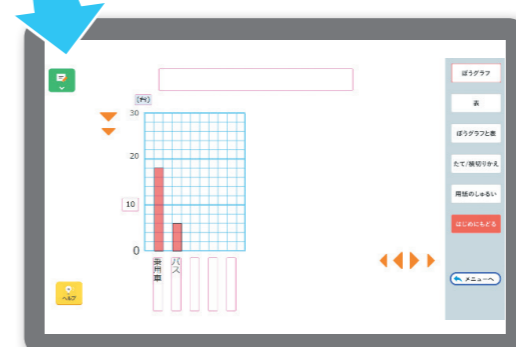
教科書紙面では、

1めもりの大きさに着目させ、グラフをかくことで、  
グラフの読み取りについての理解を深めます。



▲3年上 p.72~73 「ぼうグラフと表」

さらに、QRコンテンツを使うと…



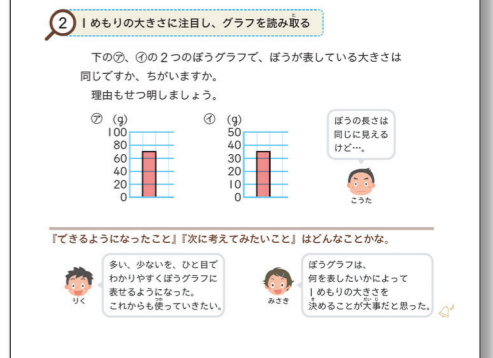
こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



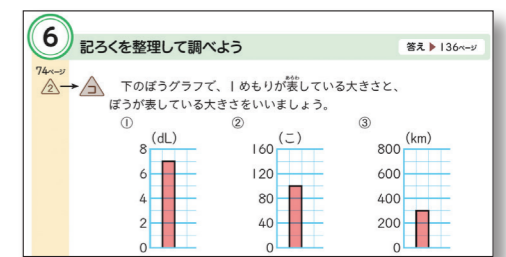
ぼうグラフをかこう

QRコンテンツの「ぼうグラフをかこう」では、1めもりの大きさを自分で設定できるので、表したいデータによって1めもりの大きさを決めることを意識づけれます。

単元末の「つないでいこう 算数の目」で、  
グラフの読み取りで大切な  
見方・考え方を振り返り、価値づけます。



▲3年上 p.79 「ぼうグラフと表」

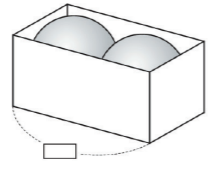


▲3年上 p.131 「ほじゅうのもんだい」

巻末の「ほじゅうのもんだい」では、1めもりの大きさに着目する練習問題をご用意しました。児童の実態に応じてご活用ください。

**3年** 標準学力調査  
3学期実施版(東京書籍)をもとに改題

右のように、半径7cmのボールが2こぴったり入っている箱があります。  
図の□にあてはまる長さを求めましょう。(選択肢省略)



**正答率** 3年(12~2月) **62.9%**

**誤答例** 14cm

球の半径や直径といった、球の特徴についての理解が定着していない児童がいます。

教科書紙面では、

**10**

**まよの**  
球のどこを切っても、切り口はいつも円になる。また、球の切り口は、半分に切ったとき、いちばん大きくなる。

球を半分に切ったとき、その切り口の円の中心、半径、直径を球の中心、半径、直径といいます。

**問題**  
右のように、半径9cmのボールが1こぴったり入っている箱があります。この箱のたてと横の長さは、それぞれ何cmですか。

右のようにして、球の直径をはかりましょう。

どんなことに気をつけばいいかな。

▲3年下 p.10 「円と球」

QRコンテンツの「球の切り口の形や大きさを調べよう」では、球の切り口の形や大きさをとらえることができます。

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



球の切り口の形や大きさを調べよう

QRコンテンツの練習問題では、「おしえて」で、答えと解説を確認することができます。家庭学習でも安心して使用することができます。

さらに、QRコンテンツを使うと…

児童が苦手としている箱と球の問題は、単元内だけでなく、単元末の「たしかめよう」や巻末の「3年のふくしゅう」でも扱い、繰り返し練習ができるようにしています。

右のように、半径4cmのボールが6こぴったり入っている箱があります。この箱のたてと横の長さは、それぞれ何cmですか。

球の半径をもとにして、考えられるかな？

9ページ

▲3年下 p.12 「円と球」

**3年のふくしゅう**

右のように、箱に同じ大きさのボールがぴったり入っています。

① ボールは何こ入っていますか。  
② ボールの直径は何cmですか。  
③ この箱の横の長さは、何cmですか。

24cm

▲3年下 p.103 「3年のふくしゅう」

**4年** 標準学力調査  
3学期実施版(東京書籍)をもとに改題

まいこさんは、㊸の角度を、次のように考えて求めました。

《まいこさんの考え》

㊶の角度をはかると、45°でした。

㊸の角度は、□の式で求めることができます。

□にあてはまる式はどれですか。答えは1~4から1つえらんで、その番号を書きましょう。(選択肢省略)

**正答率** 4年(12~2月) **65.9%**

**誤答例** 180-45

180°より大きい角度のはかり方が定着していない児童がいます。

教科書紙面では、

「今日の深い学び」で取り上げ、着目すべき角度について考える展開にしました。

180°より大きい角度のはかり方をまとめた後に、360°に近い角度のはかり方について、さらに深く考えることで、学習を深められるようにしています。

**今日の深い学び**

④の角度は何度ですか。

① 今までの学習とちがうところを話し合おう。  
② 180°より大きい角度のはかり方を考えよう。  
③ 自分の考えを、図や式を使ってかきまよう。

④の角度は何度ですか。

⑤ 180°より大きい角度をはかるとき、大切なのはどのような考えですか。

153ページにも、④の図があるよ。

▲4年上 p.61~63 「角の大きさ」

さらに、QRコンテンツを使うと…

④の角度は何度かな。

⑤ 上の2人の考えの中で、自分の考えとにているのはありますか。説明しましょう。

⑥ 下の2人の考えについて話し合おう。

上の2人の考えの中で、自分の考えとちがう考えを読み取って、説明しましょう。

180°より大きい角度は、180°とあと何度かを考えたり、360°から180°より小さい角度をひいたりすれば、はかることができます。

180°や360°は、はからなくてもわかるね。

新たな問題を考えることで、よりよい考えを追究する姿を例示しています。

線をひいたり、分度器で角度を調べたりすることが簡単にできます。1つの求め方ができたらスクリーンショットで保存して、別の求め方を考えることも可能です。

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



角度のはかり方を考えよう①

92÷4の答えを筆算で求めます。このとき、次の筆算の「ア」では、どのような計算をしていますか。  
答えは1～4から1つ選んで、その番号を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \overline{) 92} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| 1 | 1×8  | 2 | 10×8 |
| 3 | 40×2 | 4 | 20×4 |

正答率 4年(12～2月) 49.1%

誤答例 2、3

わり算の筆算で、筆算の計算過程の数の意味が正しく理解できていない児童がいます。

教科書紙面では、

筆算の計算過程における数が、どのような意味を表しているのかを提示しています。

筆算の仕方を丁寧に解説し、「たてる→かける→ひく→おろす」の4つの操作が繰り返されていることをおさえられるようにしています。

▲4年上 p.41 「わり算の筆算(1)」

さらに、QRコンテンツを使うと…

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



72 ÷ 3の筆算のしかた

筆算の仕方を、色紙を用いた図解と合わせて動的にとらえることで、筆算の計算過程の数の意味をおさえることができます。

□÷0.8の商の大きさについて考えます。□には0でない数が入ります。  
下の①～③までの中から、正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① □÷0.8の商は、□より大きくなる。
- ② □÷0.8の商は、□より小さくなる。
- ③ □÷0.8の商は、□と同じになる。

正答率 6年(4月) 65%

誤答例 ②

除数が1より小さいときの、被除数と商の関係を正しく理解していない児童がいます。

教科書紙面では、

▼5年上 p.59 「小数のわり算」

児童自身が数直線をつくることで、除数が1より大きい場合と小さい場合の、被除数と商の関係をとらえられるようにしました。また、除数の大きさと商の大きさの関係を探る際にも数直線を役立てることができます。

さらに、QRコンテンツを使うと…

こちらから実際のコンテンツをご覧いただけます。



数直線の図に表そう

アニメーションを使うことで、数直線のかき方を動的にとらえることができ、数直線を根拠とした立式へと導きます。



右の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、あきらさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

	道のり (m)	時間 (分)
㊦ インターネット	2100	30
㊧ あきらさんたち	400	7

- ㊦ インターネット  $2100 \div 30 = 70$   
 ㊧ あきらさんたち  $400 \div 7 = 57.1\dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1分間あたりに進む道のりは70mと約57mなので、㊦のほうが速い。
- 1分間あたりに進む道のりは70mと約57mなので、㊧のほうが速い。
- 1mあたりにかかる時間は70分と約57分なので、㊦のほうが速い。
- 1mあたりにかかる時間は70分と約57分なので、㊧のほうが速い。

**正答率** 6年(4月) **56.0%**

**誤答例** 2、3

式から、「1分間あたり」か「1mあたり」かを正しく区別できていない児童がいます。

教科書紙面では、

教科書紙面には、速さを求める問題と、数直線を用いた比較の問題が掲載されています。また、QRコードが設置されています。

▲5年下 p.34～35 「単位量あたりの大きさ」

速さや混み具合など、単位量あたりの大きさを比べる場面では、**数直線の図で2量の関係**をとらえられるようにしています。

こちらから実際のコンテンツをご覧ください。

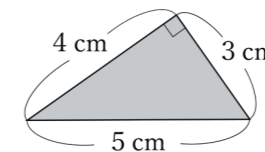


速さについて考えよう

さらに、QRコンテンツを使うと…

QRコンテンツを使用すると、数直線を用いた速さの比較が視覚的にわかりやすくなります。

右図のような直角三角形があります。(1)図の直角三角形の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。求める式と答えを書きましょう。



**正答率** 6年(4月) **55.4%**

**誤答例** 10cm<sup>2</sup>、7.5cm<sup>2</sup>

三角形の底辺と高さの関係を正しくとらえられていない児童がいます。

教科書紙面では、

教科書紙面には、三角形の底辺と高さの定義が示されています。また、底辺が斜めの図形も提示されています。

▲5年下 p.51 「四角形と三角形の面積」

底辺と高さの定義では、底辺が斜めの図形も提示し、**底辺と高さの関係**をきちんととらえられるようにしています。

単元内の練習問題に加え、巻末の「**ほじゅうのもんだい**」で底辺が斜めの図形を提示し、繰り返し練習ができるようにしています。

▲5年下 p.52 「四角形と三角形の面積」

▲5年下 p.135 「ほじゅうのもんだい」

- ▲：練習問題と同じ難易度の問題
- ◆：少し難しい問題

さらに、QRコンテンツを使うと…

QRコンテンツを使用すると、問題をアニメーション化して視覚的に量をとらえやすくし、「単位時間あたりに進む道のり」という速さの意味理解を支援します。

問題をアニメーション化して視覚的に量をとらえやすくし、「**単位時間あたりに進む道のり**」という速さの意味理解を支援します。

こちらから実際のコンテンツをご覧ください。



1時間あたりに進む道のりを比べよう

さらに、QRコンテンツを使うと…

QRコンテンツを活用すると、教科書紙面にない追加問題に取り組むことができます。

